

TOEIC® Tests 受験者と人事担当者に調査

人事のリアルな意見が明らかに！履歴書に記載してもいい「TOEIC® L&R」のスコアは何点？

～高いスコアはキャリアの選択肢を広げるのに効果的だが、人事は意外と低いスコアから評価している！
さらに、TOEIC Tests4 技能すべてで平均以上のスコアを取得した人も、高く評価されるという結果に～

日本で TOEIC® Program を実施・運営する国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）（所在地：東京都千代田区永田町、理事長：大橋圭造）は、23～39歳の TOEIC® Tests の受験経験のある男女 500 名と日本の企業で人事・採用を担当している 23～49 歳の男女 500 名を対象に、TOEIC® Tests の点数とキャリアの関係性にまつわるアンケート調査を実施いたしました。

※ 「TOEIC® Tests」は、「TOEIC® L&R」と「TOEIC® S&W」の総称です。

「TOEIC® L&R」は「TOEIC® Listening & Reading Test」、 「TOEIC® S&W」は「TOEIC® Speaking & Writing Tests」の略称です。

調査の要旨は以下のとおりです。

<SUMMARY>

1. **TOEIC Tests 受験者が考える「履歴書に記載してよい TOEIC L&R スコア」の最多**は 700 点以上。一方で「**キャリアアップに成功したと実感している受験者のスコア**」の最多や、「**人事が評価するスコア**」の中央値は 600 点以上に。
2. **受験者が考える TOEIC Tests 受験のメリット第 1 位は、「就職やキャリアチェンジなどに直接的に繋がる」という結果に。**
3. **4 技能すべてで平均以上のスコアを取得することも人事から高く評価される**ことが判明。
より高いスコアの取得で**キャリアの選択肢が広がるが、同様に、「聞く・読む・話す・書く」4 技能の英語力を示すことも重要**という結果に。

■調査概要

調査名 : TOEIC Tests キャリア調査
調査方法 : インターネットリサーチ
調査期間 : 2022 年 10 月 5 日～10 月 11 日
調査地域 : 全国
調査対象 : ①23～39 歳/TOEIC Tests 受験経験のある会社員 (500 名)
②23～49 歳/企業の人事・採用ご担当者 (500 名)
サンプル数 : 1,000 サンプル (500 サンプル×2 層) /男女均等

※本リリースの調査結果をご利用いただく際は、「IIBC 調べ」とご明記ください。

1. TOEIC Tests 受験者が考える「履歴書に記載してよいTOEIC L&R スコア」の最多は700点以上。一方で「キャリアアップに成功したと実感している受験者のスコア」の最多や「人事が評価するスコア」の中央値は600点以上に。

23～39歳のTOEIC Testsの受験経験がある男女500名に聞いたところ、「履歴書・職務経歴書・社内のプロフィール等に記載してもいい」と思う「TOEIC L&R」のスコアは700点以上という回答が最多に。

一方で、TOEIC Tests 受験経験者のうち「希望する企業への就職や希望部署への配属など、キャリアアップやキャリアチェンジに成功した」と回答した266名の実際に記載した「TOEIC L&R」スコアは600点～700点との回答が最多に。さらに、人事担当者500人が回答した実際に評価するスコアの中央値は600点以上という結果になりました。

「TOEIC L&R 公開テスト」の過去3回の平均スコアは601.2点*であることから、TOEIC L&R は高いスコアだけでなく平均スコアであってもキャリアアップやキャリアチェンジには十分に目指せるということが判明しました。

* TOEIC L&R 公開テストの過去3回の平均スコアは、591.9点（第303回）、601.3点（第302回）、610.4点（第301回）。

図1

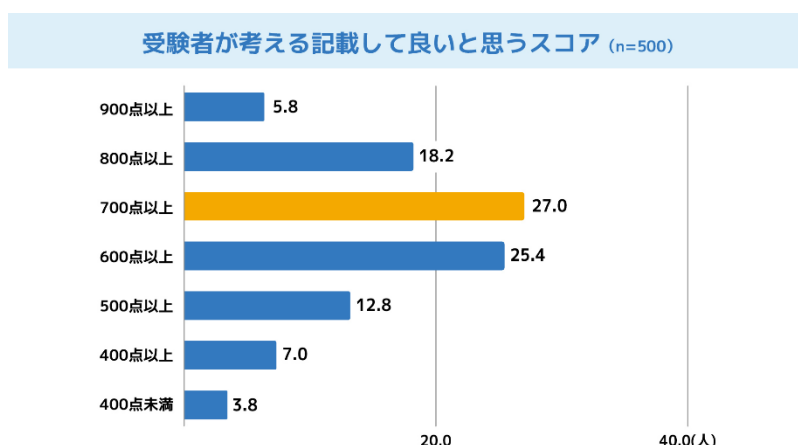
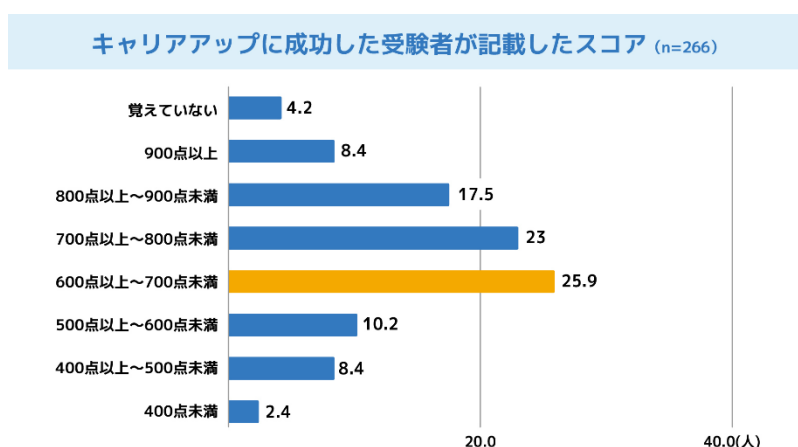


図2



一方で、全体の8割以上の受験者が「TOEIC L&R で高いスコア（700点以上）を獲得している人」の方が、「キャリアの選択肢が広がると思う」と感じているという結果もあり、平均点であってもキャリアアップやキャリアチェンジには効果的であるものの、より選択肢の幅を広げたいという方は高スコアを目指すことがおすすめです。

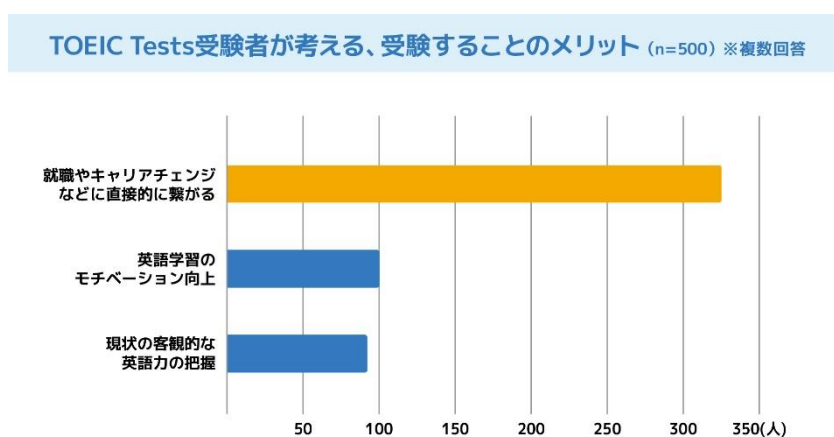
2. 受験者が実感した TOEIC Tests 受験のメリット第 1 位は「就職やキャリアチェンジなどに直接的に繋がる」という結果に！

次いで「英語学習のモチベーション向上」が第 2 位に。

英語力向上を目指す人が受験することも多い TOEIC Tests ですが、受験者が実感した受験のメリットについて尋ねたところ、全体の半数以上が「就職やキャリアチェンジなどに直接的に繋がる」と回答したことが分かりました。また、英語力を測る試験のメリットとして挙げられることが多い「英語学習のモチベーション向上」は第 2 位という結果に。

この結果から、英語力向上や英語力の把握に活用できる TOEIC Tests がキャリアアップやキャリアチェンジにも複合的な効果をもたらす可能性が非常に高いことが明らかになりました。

図 3



3. TOEIC L&R や TOEIC S&W のそれぞれの項目で高いスコアを取得することだけでなく、

4 技能すべてで平均以上のスコアを取得することも人事から高く評価されることが判明。

一方で、まだまだ多くの受験者が TOEIC S&W などの「話す・書く」英語力の測定に至っていない現実も。

キャリアの選択肢を広げるなら、「聞く・読む・話す・書く」4 技能の英語力を示すことが重要。

TOEIC Tests には、「聞く・読む」英語力を測定する TOEIC L&R と「話す・書く」英語力を測定する TOEIC S&W の 2 種類があります。

「受験者の多くが TOEIC L&R を受験しているが人事の評価では TOEIC S&W は重視されていないのか？」という疑問を明らかにするために、今回の調査では①TOEIC L&R の高スコア (8 割以上) ②TOEIC S&W の高スコア (8 割以上) ③TOEIC L&R・TOEIC S&W の両方で平均以上のスコア (6~7 割) の 3 つのパターンのうち、人事担当者が最も評価したいと思う人材を尋ねました。

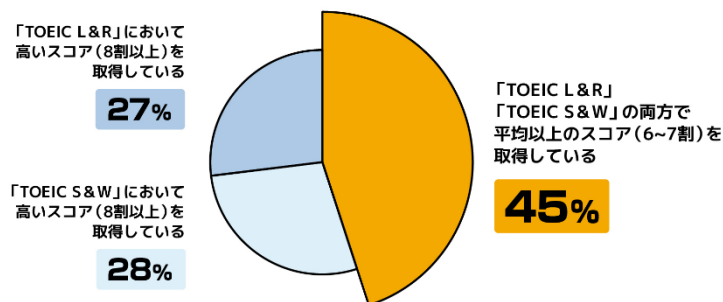
その結果、③「TOEIC L&R と TOEIC S&W の両方で平均以上のスコア (6~7 割) を取得している」と回答した人が最も多い結果になりました。

一方で、まだまだ多くの受験者が TOEIC S&W などの「話す・書く」英語力の測定に至っていない現実も。

TOEIC L&R と TOEIC S&W、2 つテストを通して「聞く・読む・話す・書く」の英語 4 技能をバランスよく身につけることも、キャリアの選択肢を拡大するための第一歩として重要であることが分かりました。

図4

「新卒採用・転職採用・昇進・昇格・異動・海外異動（海外赴任）」
のいずれかにおいて、人事担当者が最も評価したいと思うもの
(n=309) ※単一回答



また人事担当者 500 人のうち、評価時に「TOEIC Tests 受験歴がある方」に対して「ポジティブな印象」を持つと答えた人は全体の 7 割以上という結果も。TOEIC Tests で 4 技能すべてで平均以上のスコアを取得することは評価されつつも、**まずは受験してみてスコアを活用するだけでもキャリアアップ・キャリアチェンジに効果を発揮する**ことが分かりました。

■まとめ

今回の調査から、TOEIC Tests 受験者が考える「履歴書に記載してよいスコア」とキャリアアップに成功した受験者が記載したスコア、また人事担当者が実際に評価するスコアとの間には 100 点もの差があり、高いスコアがキャリアの選択肢を広げる一方で、多くの人が考えるほど高いスコアを取らなくても社会では評価されるということが明らかとなりました。

同時に、TOEIC Tests 受験者の多くは英語力向上だけではなく、キャリアへの好影響をメリットとして実感していることも明らかになりました。

また、人事担当者のリアルな意見から、採用や昇進、海外異動などにおいて「聞く・読む・話す・書く」の 4 技能すべてで平均以上のスコアを取得することが最も評価されやすいということが明らかになった一方で、まだまだ多くの受験者が TOEIC S&W などの「話す・書く」英語力の測定に至っていない現実も明らか。

採用活動の際に、英語力を評価する材料としても重視されている TOEIC Tests。英語力に自信がなく敬遠していた人もいるかも知れませんが、平均的なスコアを獲得できれば、キャリアアップやキャリアチェンジに効果的だということがわかりました。来年こそ、あなたの「なりたい未来」に向かって動き出そうと考えているなら、まず TOEIC Tests を受験することから始めてみてはいかがでしょうか。

■交通広告・スペシャルサイト情報

国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC) は、都内二拠点で「TOEIC がキャリアに効く」というメッセージを訴求する交通広告を 2022 年 12 月 19 日より掲出開始します。

・東急田園都市線渋谷駅 B1F 道玄坂ハッピーボード B (渋谷駅 B1F、A0・A1 出口付近)

※駅及び、駅係員へのお問い合わせはご遠慮ください。



・新宿ツインプレミアム（東京都新宿区新宿駅）



また、広告掲載の実施に伴い、#なりたい未来に効く スペシャルサイトを開設します。スペシャルサイトでは、いくつかの質問に回答していただくことであなたが希望する将来のキャリアにあった「TOEIC 目標レベル」を診断できる「#なりたい未来に効く キャリア×TOEIC 診断」や、TOEIC L&R に登場するあまりにホワイトでちょっと面白い(?) 職場の様子を楽しみながら、公式問題にチャレンジできる「TOEIC のホワイトすぎる職場集」をご覧ください。

・ TOEIC スペシャルサイト : <https://lp.iibc-global.org/hubfs/happynewcareer/index.html>

※本プロモーション上のTOEICは、TOEIC Tests を表します。



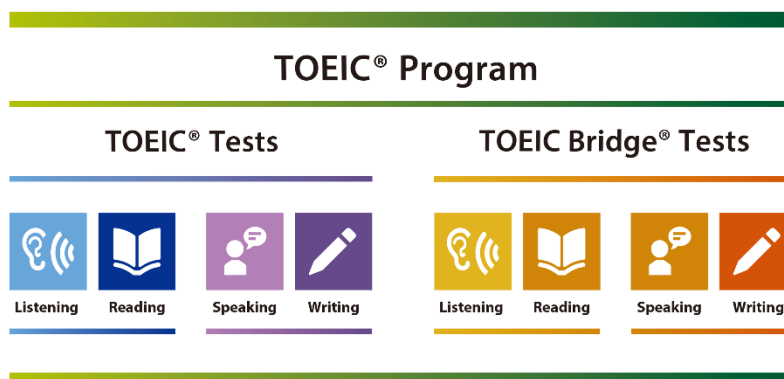
<本件に関するお問い合わせ先>

TOEIC PR 事務局（株式会社アンティル内） 担当：中原／河原／田邊

TEL : 03-5572-7375 / FAX : 03-6685-5267 / Mail: toEIC_pr @vectorinc.co.jp

TOEIC® Program

TOEIC® Listening & Reading Test、TOEIC® Speaking & Writing Tests、TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests、TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests の総称。4 つのテストを合わせた TOEIC® Program は世界 160 力国、約 14,000 団体で実施されている。



TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で聞く・読む能力”を測定するテスト。テスト結果は 10 点から 990 点までのスコアで評価され、その評価の基準は常に一定に保たれる。スコアによる評価や英語能力を正確に測定できる質の高さが評価され、企業・団体においては昇進・昇格の要件として、また、社員の採用の際などに参考にされている。学校においても入試や単位認定などで広く活用されている。2021 年度の日本における受験者数は約 212 万人。

2020 年 4 月より、企業・学校・団体に実施される団体特別受験制度 (IP テスト) において、オンライン方式のテストを導入、約 1 時間での実施が可能となる。公開テストは従来のマークシート方式 (2 時間) のテストを実施。

TOEIC® Speaking & Writing Tests (TOEIC® S&W)

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で話す・書く能力”を測定するテスト。テスト開発機関である ETS の認定を受けた複数の採点者が公平に採点し、可否ではなく、0 点から 200 点までのスコアで評価する。また、発音・イントネーション/アクセントについても 3 段階で評価を知ることができる。TOEIC® Listening & Reading Test と同様、日常生活やビジネスの場面で採用されているが、特殊なビジネス英語や特定の業界・分野の知識を必要としたり、特定の国の歴史や文化に関連する固有の事象がわからなければ解答できない問題などは含まれていない。2021 年度の日本における受験者数は約 3 万 5 千人。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC: The Institute for International Business Communication)

「人と企業の国際化の推進」を基本理念とし、1986 年に設立。

「グローバルビジネスにおける円滑なコミュニケーションの促進」をミッションとし、国内外の関係機関と連携しながら TOEIC® Program およびグローバル人材育成プログラムを展開している。